

## バブルサッカーで白熱

わだい④

3月2日、生涯学習センターでバブルサッカー交流会が行われました。これは山形県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会最上地区協議会の主催で行われたもので、最上地域の若者22名が参加しました。バブルサッカーとは、バンパーボールという大きな風船の中に入ってサッカーを行う競技で、互いにぶつかり合いながら、男女問わず楽しめる新しいスポーツです。みなさんバブルサッカーのユニークな動きを楽しみながら、交流を図っていました。



## 緊急時の処置を学ぶ

わだい①

2月14日、町鳥獣被害対策実施隊が救急講習を行いました。これは、有害鳥獣駆除活動中の事故等の有事の際に、迅速かつ正確な救急活動を行える知識を身につけることを目的とするもので、実施隊の隊員14名が参加しました。

当日は最上広域消防本部の方から、骨折や心肺停止状態になった場合の処置の方法を学びました。副隊長の阿部義春さんは、「駆除活動中は危険も多く、有事の際に動ける知識が必要」と話していました。



## 大きくなって帰ってきてね

わだい⑤

3月11日、舟形ほほえみ保育園の年中児38名と最上町の保育園児30名が合同で、サケ稚魚の放流を行いました。これは、小国川漁業協同組合と最上小国川流域産地協議会が、清流小国川を地域の人々で守る意識を育む目的で企画したものです。この日は、町サケふ化場でふ化し、体長約6cmに育った稚魚約5万尾が放流されました。園児たちは、「大きくなってね」と声を掛けながら放流していました。



## 楽しく健康元気に

わだい②

2月24日、生涯学習センターで第22回舟形町ラージボール卓球大会が開催されました。この大会は、舟形町ラージボール卓球協会が、卓球の普及や健康増進、親睦を図ることを目的に毎年行っているものです。

当日は、29名が参加。男女別のリーグ戦の後、クラス別の試合や男女混合のダブルスも行なわれました。みなさん真剣勝負の中にも、笑顔があふれる大会となりました。



## これまでの功績に感謝

わだい⑥

1月30日、納税組合長の臨時会議において、今年度をもって納税組合が解散することが決まりました。口座振替や自主納付の普及、個人情報の取り扱いの問題など、納税をめぐる社会環境の変化を踏まえての決定となりました。

納税組合は、長きにわたり納税思想の高揚や税収の確保に尽力され、円滑な町政運営に多大な貢献をしてくださいました。これまでの組合長はじめ関係者のみなさんへ感謝申し上げます。



## 小国川の素晴らしさを

わだい③

2月26日、中央公民館で第3回最上小国川写真コンテストの表彰式が行われました。これは最上小国川清流未来振興機構が企画したもので、最上小国川の大切さの再認識や、未来に伝える機運の醸成を目的としています。

コンテストには県内外から30名の応募があり、91点の作品の中から、9名9作品が表彰されました。優秀賞には磯谷多喜子さん（舟形第1）の作品も選ばれるなど、最上小国川の素晴らしさが表現された作品が多くありました。



3/10 東部地区ふれあい卓球大会  
卓球で世代を越える



▶子どもから大人まで約30名が参加、世代を問わず卓球を楽しみました。

3/8 かもしかクラブ修了式  
みんなで守ろう交通ルール



▶園児一人ひとりが修了証を受け取り、交通ルールの大切さを再確認しました。

3/7 救助資機材搭載型消防ポンプ自動車  
総務省消防庁より配備



▶全国で61台の中の1台として、第1分団第10部（幅）に配備されました。

3/1 新しい「縄文の女神」グッズ  
国土土偶「縄文の女神」をPR



▶新たな縄文の女神のクリアファイルやのぼり旗などをお披露目しました。

2/22 舟形町老人クラブ連合会  
輪投げ交流大会



▶約180名が参加。熟年の技で競い合い、楽しんでいました。

2/17 農村環境改善センター  
楽しい楽しい映写会



▶45名が参加し、昔懐かしい16mm映写機による映画を楽しみました。